

事業名	西之表市史編さん事業	総事業費	8,019 千円
-----	------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

② 実施 (Do)

事業の意図		郷土の歴史を知り、本市の歴史文化や文化財、自然に対する誇りと愛着を深める。
事業の実績 と成果	取組内容	編さん委員会を西之表市で2回、編集委員会を鹿児島市で1回、西之表市で1回の計2回実施した。 専門部会による部会の開催は、先史部会が1回、校区史部会が3回実施した。 昨年度に引き続き「編さんだより」を年4回市内全戸に配布し、編さん状況の周知を行った。 部会員による現地調査も可能な範囲で行い、原稿の収集に努めた。
	成 果	民俗学者故下野敏見氏の所蔵資料については、ご自宅を3回訪問し、梱包搬出作業を行った。 国上湊川のマングローブ林の国指定に向けて、自然部会員による現地調査、所見の報告を行ってきたが、令和4年11月に無事国の天然記念物に指定された。 各専門部会の現地調査により、校区に残されている資料、石碑・石塔、郷土芸能の現況を整理することができた。 市民や出郷者から古写真など、300点を超える古資料の提供があった。廃仏毀釈によってなくなったお寺の史料等についても情報提供があり、データ化作業を行った。



③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	原稿の収集状況に部会間で差があるので、引き続き執筆者・部会長との連絡調整を密に行う。 馬毛島の記述に関しては、防衛省と協議の上、ゲラ組みしていく。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	コロナ禍ではあったが、5か年計画の予定通り、調査・資料収集を経て、執筆作業に入ることができた。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	令和4年度末までに提出されていない原稿を早急に収集する。 市民・地域・出郷者からの古資料については、引き続き可能な限り収集に努める。 通史編刊行後の市史の活用等についても検討しておく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 	令和4年度も、市民・出郷者から古写真や古文書など300点を超える古資料の提供があった。左の写真は、明治時代に来島し、熊毛郡長を務めて種子島のために尽した牧野篤好氏の御子孫から寄贈いただいた資料で、牧野氏が郡長時代に書き残したもの。明治時代の種子島の様子をうかがうことができる貴重な資料である。

事業名	歴史文化活用事業
-----	----------

総事業費	371 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

② 実施 (Do)

事業の意図	本市が有する歴史文化資源の魅力を知ってもらう。	
事業の実績 と成果	取組内容	西村天囚没後100年となる令和6年に向け、昨年度に引き続き大阪大学と西村天囚関係資料の共同研究を行った。8月、12月には大阪大学の湯浅教授をはじめとする西村天囚研究者が調査のため来島され、12月には文化講座を開催した。 種子嶋家住宅の活用案について検討し、関係課協議を行った。
	成 果	市民や出郷者からの情報提供や専門家による現地調査によって、西村天囚に関する貴重な資料が残されていることが明らかとなった。共同研究の成果は、大阪大学大学院文学研究科紀要に掲載された。掲載された資料は、どのような点に価値があるのかを所有者にフィードバックし、資料の保存・伝承の啓発を行った。12月に開催した「あかおぎ大学文化講座」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため人数を制限し、32名が聴講した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	上半期は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、島外から講師等を招聘して講演やイベントを行うことが難しい状況が続いた。 新たな歴史文化資源の活用について、今後も随時関係課等と協議しながら取り組んでいく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市史編さん事業と並行して、大阪大学との共同研究や、新たな資料等の収集など幅広い活動ができている。成果を市民へ還元し、誇りと愛着の醸成のための取組を進めていくことが求められる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	新型コロナウイルス感染症も5類となり、行動制限等も撤廃されるため、市民が歴史文化資源に触れられるような講演会等のイベントを積極的に開催する。 本市の歴史文化資源の活用について検討を進める。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	ふるさと歴史散歩看板整備事業
-----	----------------

総事業費	1,023 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

② 実施 (Do)

事業の意図	身近な地域の歴史を伝え、郷土に誇りをもたせる。また、文化財を観光ツールとして活用し、本市の文化財の普及啓発を図る	
事業の実績 と成果	取組内容	既存の歴史散歩看板の現状調査。製作看板の選定。看板原稿の作成、レイアウト。看板原稿校正。看板製作設置業務委託契約。看板設置、検査。 次年度以降の設置看板選択。看板内容多言語化への手法検討。
	成 果	国上・伊関・安納校区合計30基の看板を設置することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	看板の製作設置（30基）。看板を活用した文化財の普及啓発活動。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	当初の計画どおり看板の製作設置を行うことができた。今後も製作設置計画に沿って事業を進めていく。看板の周知については、引き続き市HP・広報誌及びSNSなどを活用して行っていく。看板の活用・維持管理については、地域と連携して取り組む手段を今後検討していく。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	看板の製作設置（30基）。看板を活用した文化財の普及啓発活動。
-----------	---------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	設置した看板

事業名	民俗文化財調査事業
-----	-----------

総事業費	686 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

② 実施 (Do)

事業の意図		文化財の記録保存を図る
事業の実績 と成果	取組内容	調査委員会の出席。調査員による横山盆踊保存会・西之本国寺盆踊保存会への聞き取り調査及び類似する島内の芸能の調査、関連資料等調査の実施、調査報告書の原稿作成
	成 果	地域の都合で横山盆踊は披露されなかったが、聞き取り調査が実施された。 年度内に調査報告書が刊行された。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業完了のため無し
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	当初の計画通り、調査報告書を刊行できた。今後、地域住民に対して調査報告書を普及啓発及び継承活動のツールとして活用し、郷土に伝わる文化財を再認識させることが必要となってくる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業完了のためなし
-----------	-----------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	種子島西之表市いけばな展開催事業
-----	------------------

総事業費	293 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

② 実施 (Do)

事業の意図		伝統文化に親しむ機会を提供し、その継承、普及啓発、活用を図る
事業の実績 と成果	取組内容	鉄砲館において、いけばなの歴史を紹介する史料展（11/3～27の25日間）と市内華道団体による作品展示（11/26～27の2日間）を開催した。作品展示の2日間は、鉄砲館を無料入館とした。いけばな体験については、コロナ禍にあり実施しなかった。
	成果	本市における、いけばなの歴史について普及啓発を図ることができた。また市内華道団体の活動発表の場を提供でき、伝統文化の保存・各団体の活動促進になった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	島内華道団体の会員数が減少、高齢化しており、伝統文化を継承する担い手（会員）が不足している。さらには、コロナ禍における活動自粛もあり、いけばな作品展自体が、団体の負担になりつつある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	いけばな展については、当初の計画通り継続して、開催することができ、本市の伝統文化の普及啓発の充実が図られた。市が主催するいけばな展は終了するが、今後市民主体で実施され、引き続き伝統文化に触れる機会の場は提供される。いけばなをはじめ全国的に伝統文化に関わる方の人口は減少しており、維持継承が困難となっており、工夫が必要である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	廃止
-----------	----

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	いけばな作品の展示